秋田県立矢島高等学校 教育振興会編集委員会





平成30年4月15日(日)発行 第181号

矢島高校コミュニティ・スクール設立構想について

前校長 長 岐 康 彦

本校はこれまで、「地域に根ざし、地域とともに歩む学校」を標榜し、菜の花まつりやひなめぐり、 独居老人宅除雪など様々な地域貢献活動をしてきた。また、鳥海総合や地域学などの特色ある教育活動 を通して、地域理解や地域活性化に向けた提言をするなど、地域との密接な関わりをしてきた。

しかし、少子化や進学志向の高まり、部活動など様々な理由から本校への入学者数の減少は著しく、 それに伴い、部活動も野球やサッカーなどの団体競技が単独チームとして成立しない状況である。これ が入学者減少にさらに追い打ちをかける悪循環となっており、強力な改善策を打たない限り現状打破は 難しい状況である。

一方、学校所在地である矢島町は、旧城下町としての独自の文化や伝統があり、教育に対する関心も高い町である。しかし、少子高齢化の影響を受け、生産年齢層の減少と共に町の活力衰退は著しい。有志による矢島冬祭りなど新たな地域興し活動も企画されており、当日はかなりの人出もあって町は賑わった、継続的な振興策には至っていない。ただ、これらの活動において、本校生徒達は欠かせない戦力となっており、また、参加する生徒達にとっても自己有用感を得る良い機会となっている。

組織を最適化させるために必要なマネジメント手法である組織マネジメントの中に、SWOT分析という環境の内外分析の手法がある。それによると、組織に何らかの改善を検討する場合に、組織内外の環境要因の〔強み〕を活かして「特色づくり」をする方法と、〔弱み〕を把握して「課題解決を図る」という方法があるが、強みを活かした改革思考の方が顧客満足度は高いと言われている。

地域貢献活動の実績や、地域を知る学習機会がある本校の〔強み〕と、旧城下町としての独自の文化や伝統を持ち、教育に対する関心も高いという矢島町の〔強み〕をうまく組み合わせることで、本校の生徒数の減少や、矢島町の活力衰退に何らかの活性化を図ることができるのではないかと考えた結果、コミュニティ・スクールを設置するという構想に至った。

一億総活躍社会の実現と地方創生の推進のため、学校と地域が一体となって地域創生に取り組めるよう、中央教育審議会の3つの答申内容の具現化を強力に推進するべく、文部科学省では「次世代の学校・地域」創世プランを策定した(平成28年1月)。この要点をまとめると、これからの学校と地域が目指すべき方向性として、「学校や地域が抱える様々な課題に対し互いに相互補完的に関わり合うことで、関わる人々の当事者意識という意識改革によって、保護者や地域住民の教育活動への参画や学校・地域・家庭の連携が強化され、学校や地域の課題解決に向けた動きが進み、学校が、地域が元気になっていく。」そのためにも、「互いに顔を見合い、相互補完的に連携・協働すること(双方向性)、地域にも教育の当事者として関わってもらうこと(対等性)」が欠かせないということである。コミュニティ・スクールは、この方向性に沿い「地域とともに歩む学校」を深化させる仕組みである。

県内では、今年度大曲工業高校、六郷高校、ゆり支援学校の3校が県立学校におけるコミュニティ・スクールモデル校に認定された。本校にこの指定は無かったが、地域との連携・協働の体制はモデル校よりも整っている。このことから、モデル校を経ず正式に発足したい旨を県に申し出た結果、紆余曲折はあったが、第1号として認定されることとなった。

今年度1年限りの校長として本校に赴任したが、素直な生徒達に特色ある教育を行っている本校と矢島町の活性化を期待して、この仕組みを置き土産とすることにした。事ある毎に趣旨を話してきたが、正式に動き始めるのは次年度からである。より良い仕組みに発展させることを願っている。

(H30, 3, 26)

今までありがとうこざいました

平成30年3月の定期人事異動で退職・転出される教職員よりメッセージをいただきました。新天地でのさらなるご活躍を祈念しております。

○長 岐 康 彦 校長

平成29年4月~平成30年3月 数学 (ご退職→再任用 県立秋田南高等学校教諭として)

「地域と共にあゆむ学校」の深化のための仕組みづくり として次年度より県立学校初のコミュニティ・スクールと なります。これを機に地域と矢島高校が更に連携を深め、 発展していくことを祈念いたします。



○冨士盛 亜 紀 事務長 平成26年4月~平成30年3月

(県立秋田きらり支援学校主幹 (単) 事務長として)

雄大な鳥海山と温かい人柄に見守られ励まされ、充実した4年間を過ごすことが出来ました。 ありがとうございました。

○武 蔵 美 佳 先生 平成27年4月~平成30年3月 地歴公民

(昇任 県立秋田南高等学校教頭として)

矢高生の皆さんと地域の方々の温かさにふれ、たくさんのよい思い出ができました。大変お世話になりました。ありがとうございました。これからも鳥海山を眺めながら矢高生を応援しています。

○佐藤寿先生平成24年4月~平成30年3月保健体育

(観光文化スポーツ部スポーツ振興課副主幹として)

地域のますますの発展と矢高生の更なる活躍を期待しております。 6年間ありがとうございました。

〇中 村 淳 先生 平成24年4月~平成30年3月 数学 (県立本荘高等学校教諭として) 6年間、矢島高校の生徒の皆さんだけでなく、保護者・同窓会・地域の方々といろいろな体験をさせていただきました。ありがとうございました。

○金 釜 洋 生 技能主任 平成27年4月~平成30年3月 (県立西目高等学校技能主任として) すばらしい自然と地域環境の中で伸び伸びと3年間勤務することが出来、ありがとうございました。 生徒の皆さん、あの純真さを忘れずに夢と希望に向かって歩んでください。矢島と言う歴史のある地域の皆さまのご協力に対し、心から感謝申し上げます。

○熊 谷 有衣子 就職支援員 平成29年5月~平成30年3月

心優しくひたむきな矢高生の皆さんと共に未来を考え歩んでいることを実感でき、ありがとうございました。これからも地域の皆さんと共に応援しています。

○菅 原 直 子 校務事務補助 平成28年4月~平成30年3月

毎日鳥海山を見ながらの楽しい2年間でした。これからも矢高生の活躍を楽しみにしています。本当にありがとうございました。

秋田県立矢島高等学校 教育振興会編集委員会





平成30年4月15日(日)発行 第182号

平成30年度入学式この矢島で学び、支え合い、一所懸命がんばります。



今年度は、新たに26名の生徒が入学しました。どうぞよろしくお願いします。 矢島高校で様々なことにチャレンジし、自分の夢に向かって努力します!!









新入生入学の言葉 代表 佐藤優衣さん(矢島中出身)

これまでの経験を生かし日々成長し互いに高め合いたいと思います。また、何事にも精一杯チャレンジして諦めずに歩んでいきたいと思います。

どうぞよろしくお願いします!!

平成30年3月の定期人事異動で本校に転入された教職員を紹介いたします。

① 出身地 ②経験部活動 ③趣味/特技 ④日頃心がけていること ⑤矢高生・地域の方々へ

校長 熊 澤 耕 生(数学) 県立秋田中央高等学校より

- ① 秋田市土崎 ②小 (器楽)・中 (吹奏楽)・高 (吹奏楽・合唱) ③音楽鑑賞 (主にクラシックですが、いいなと思ったら何でも聴きます。) / 器楽演奏 (ウインドシンセサイザー)
- ④ 即断即決をしない。でも決めたらすぐ動く。
- ⑤ おととしの3月まで教頭として勤務していましたが、不思議な縁でまた戻ってきました。新たな気持ちで頑張ります。

事務長 高 田 宇一郎 県立保呂羽山少年自然の家より

- ① 横手市増田町②小(ミニバス)・中高(卓球)③旅行、スポーツ観戦/スキー・卓球
- ④ 何事も余裕を持って行動したいです。
- ⑤ 初めて訪れる町です。矢島のいいところたくさん教えてください。よろしくお願いいたします。

教諭 尾留川 徹(保健体育) 県立秋田明徳館高等学校定時制課程より

- ① 由利本荘市 ②小中高(野球) ③温泉めぐり・旅行/スポーツ全般
- ④ 健康第一に心・技・体の充実・調和を目指しています。
- ⑤ 定年まで残り3年です。心の充実を図り、あいさつのできる生徒になってください。

教諭 鎌 田 勉(地歴公民) 県立本荘高等学校全日制課程より

- ① 秋田市 ②小中高(野球) ③ 植物の世話、朱印集め/ノック・射的
- ④ 「為せば成る」座右の銘であり、常に心がけ生徒へ伝える言葉です。いかに「本気になって真剣に取り組むか」本気は伝わります。本気でやろうと思えば何事もやり遂げられる。
- ⑤ 今年度からお世話になります。生徒のため、保護者の皆様・地域の方々、教職員と力を合わせて共に歩んで生きたいと思います。本気でやります。

教諭 佐 藤 協(数学) 県立秋田南高等学校より

- ① 羽後町三輪 ② 小(野球)中高(卓球)
- ③ 神社やお寺の参拝、温泉、野鳥観察、卓球観戦/卓球をすること(ただし4年のブランクがあります。)
- ④ 1日1日を充実して過ごすこと。「以和為貴(和を以って貴しと為す)」が座右の銘です。
- ⑤ 生まれてから高校を卒業するまで羽後町から鳥海山を眺め育ちました。矢島スキー場へも父に 連れてこられてよく遊びにきていました。鳥海山が好きなので、近くで働くことができて嬉しく 思っています。よろしくお願いいたします。

技能主任 齋 藤 英 樹 県立仁賀保高等学校より

- ① 湯沢市 ②中(軟式野球)高(硬式野球) ③釣り
- ④ 明るく穏やかに。 ⑤宜しくお願いします。

校務事務補助 斉 藤 依 鞠 (採用)

- ① 由利本荘市 ②小中(ソフトボール)高(硬式野球マネージャー)
- ③ 料理/お菓子作り ④笑顔です。
- ⑤ 少しでも慣れるように頑張ります。 どんどん話しかけてください。よろしくお願いします。

